

乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報 (インフルエンザ定点、小児科定点、眼科定点)

第 44 週 平成30年10月29日 ～ 平成30年11月4日

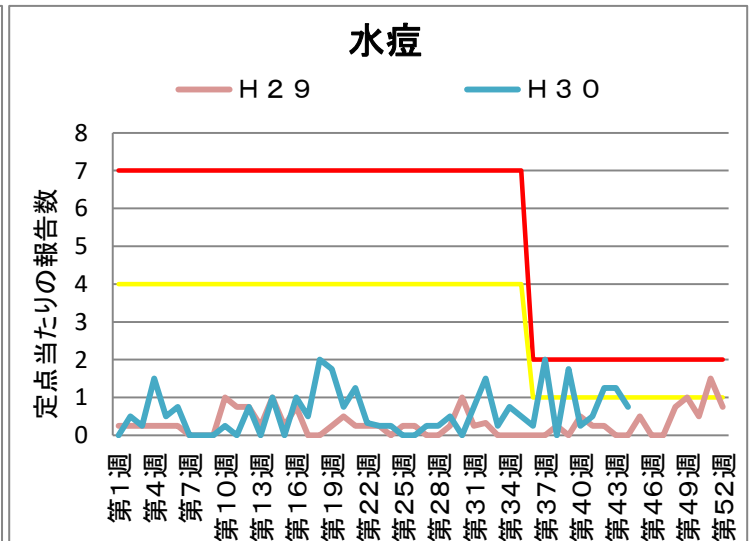
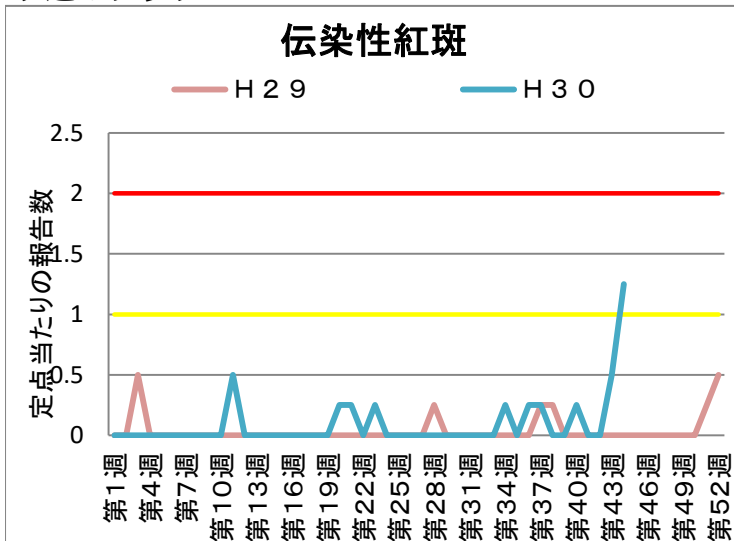
今週のコメント

○ 伝染性紅斑の報告数が増えています(定点当たり1.25)。この疾患は、両頬がリンゴのように赤くなることから「リンゴ(ほっぺ)病」と呼ばれることもあります。多くの非定型例や不顕性感染例があり、風疹と間違われることもあり注意が必要です。

○ 水痘の報告数は注意報基準値前後で推移しています(定点当たり0.75)。

○ 厚労省からの11月2日付の情報では、引き続き風しん患者が増加しているとのこと。患者の多くは関東及び愛知県の30～50代の男性です。妊娠女性(特に20週頃まで)が感染すると、先天性風しん症候群の子どもが生まれてくる可能性があります。妊婦、妊娠希望女性及び家族の方は抗体検査を受けてください。抗体価が低かった妊娠希望女性及び家族の方は、予防接種をご検討ください。

今週のグラフ



(第36週から、水痘の警報基準値が見直されています)

* 赤線 流行警報基準値です 黄線 警報継続基準値です

今週の報告状況

疾病名	定点当たりの報告数	疾病名	定点当たりの報告数
インフルエンザ	0.29	伝染性紅斑	1.25
RSウイルス感染症	0.75	突発性発しん	0.25
咽頭結膜熱	-	ヘルパンギーナ	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.75	流行性耳下腺炎	-
感染性胃腸炎	3.25	急性出血性結膜炎	-
水痘	0.75	流行性角結膜炎	-
手足口病	1.25		

定点当たりの報告数 = 1週間の報告件数総数 / 定点数

* 乙訓管内 インフルエンザ定点 : 7箇所

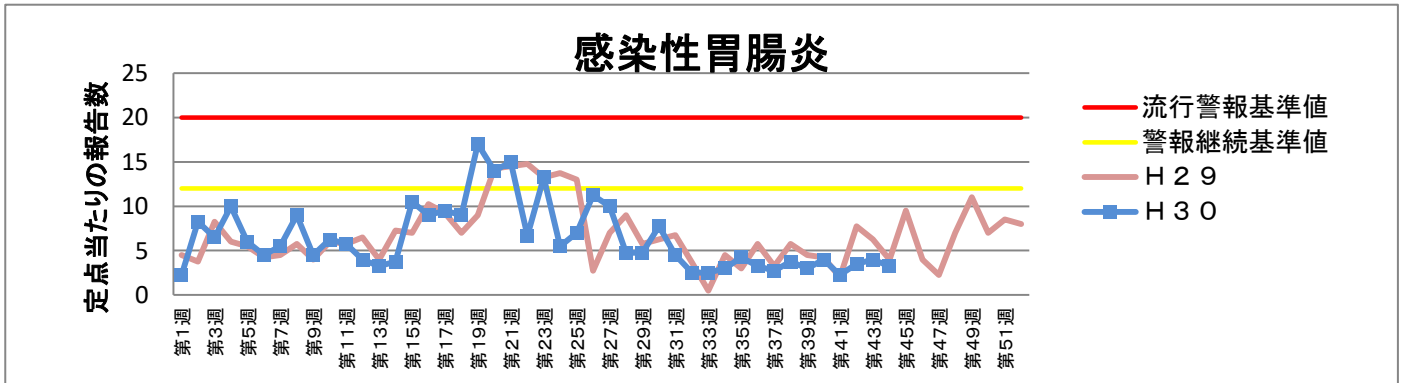
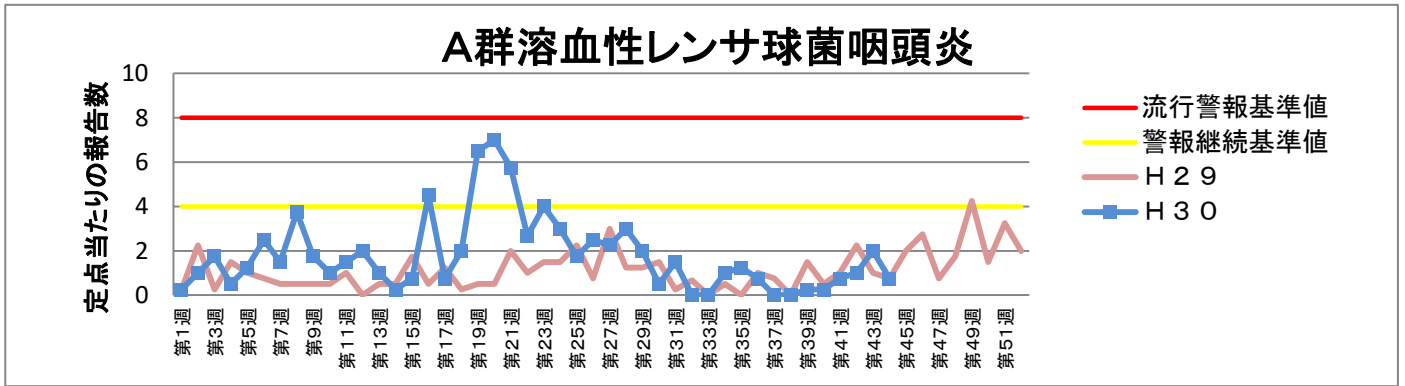
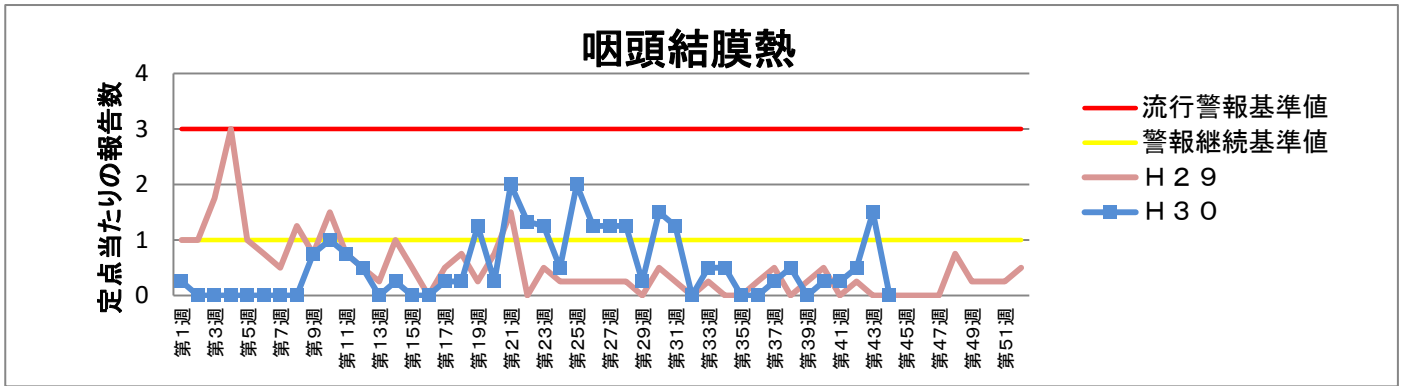
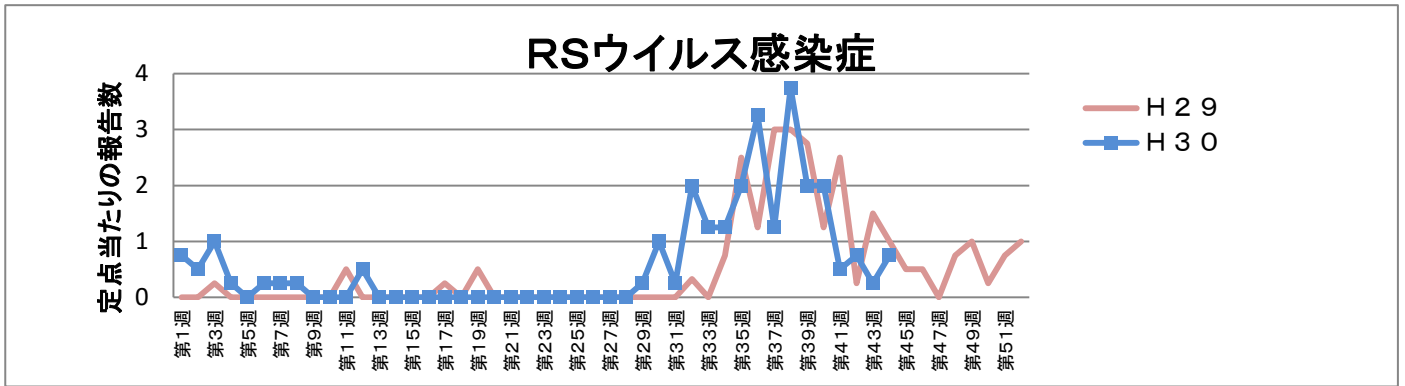
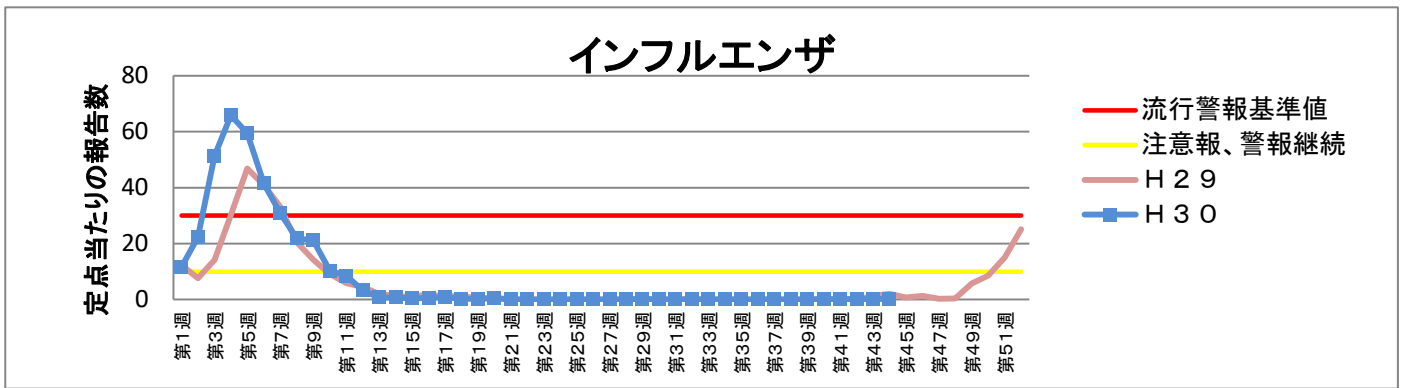
小児科定点(インフルエンザ以外の疾病) : 4箇所

眼科定点 : 1箇所

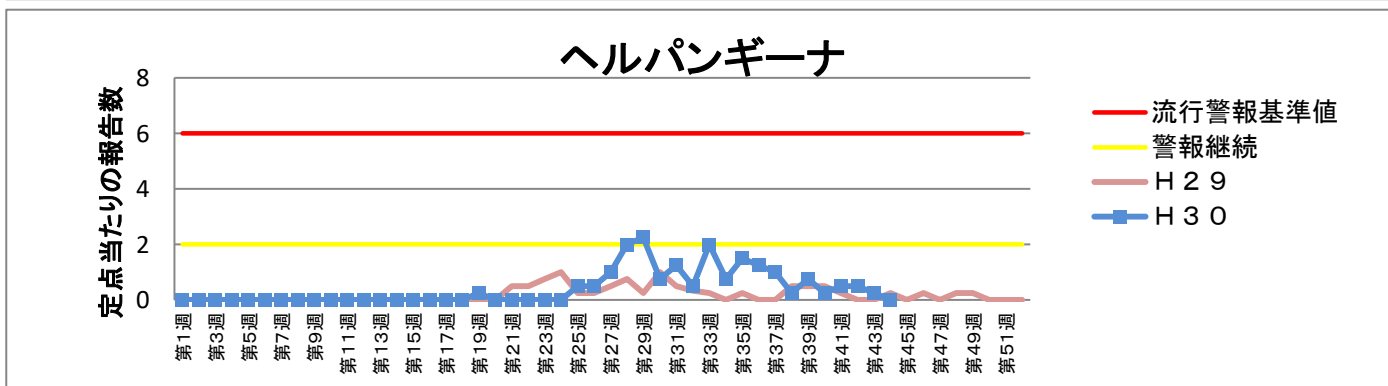
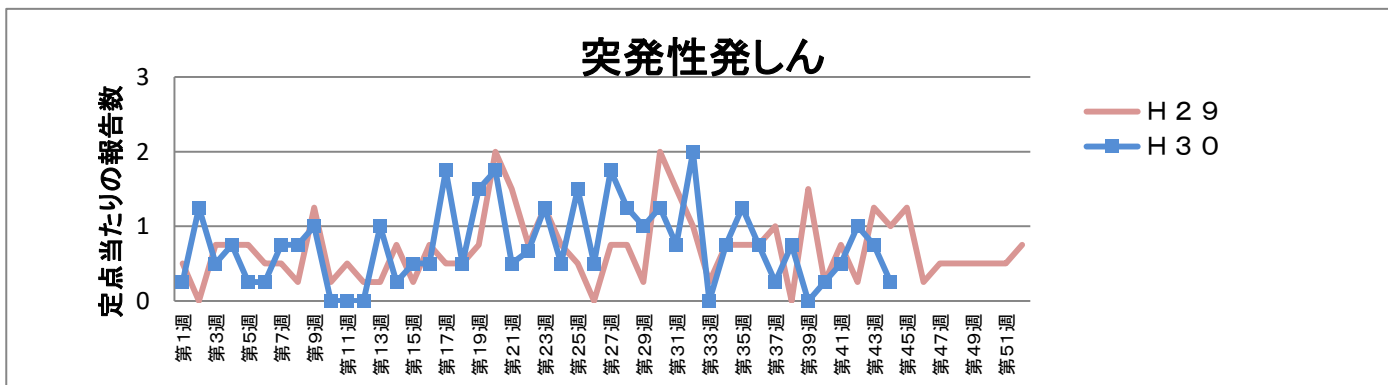
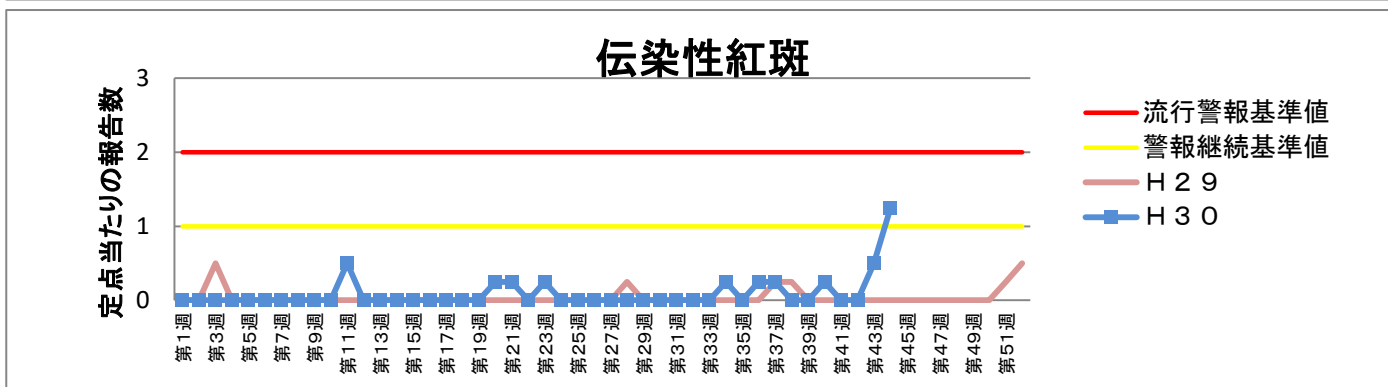
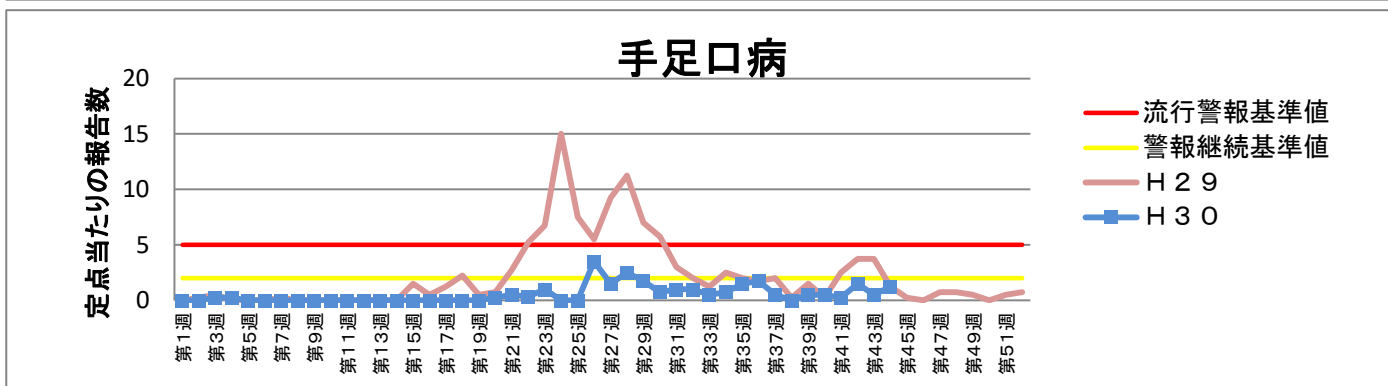
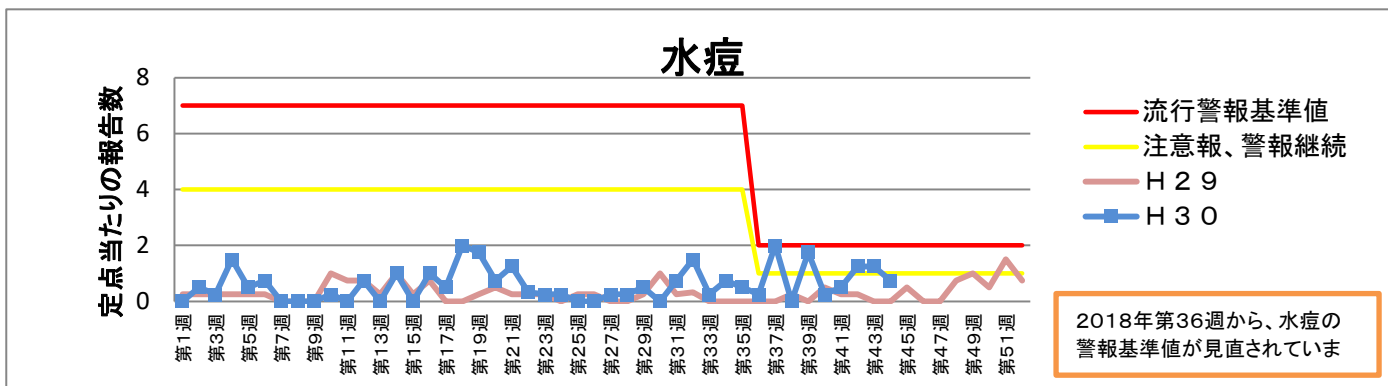
参考資料等

報告週対応表 <http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

乙訓保健所管内定点当たり報告数推移



乙訓保健所管内定点当たり報告数推移



乙訓保健所管内定点当たり報告数推移

